

口羽に鬼が出現！

30年ぶりに豆まきイベントが復活

2月3日、口羽地区で豆まきイベントが行われました。約30年前に同地区で行われていた行事を復活させようと河野鉄平さん(下口羽)が声を掛け、集まった8人が鬼と福の神に扮して口羽の町を練り歩きました。2か所の集会所では子どもたちが待ち構え、「鬼は外！福は内！」の掛け声で鬼を追い払いました。イベントを終えた河野さんは「来年以降も続けたい。他地区からの参加も歓迎します。」と笑顔で話しました。

未来をつくる

私たちの思い

おおなんドリーム学びのつどい

町内の小学生、中学生、高校生が邑南町の良さや暮らしの課題について学び、意見を発表する「おおなんドリーム学びのつどい」が1月27日に健康センター元気館で行われました。発表者含めて約200人が訪れ、子どもたちの夢や願いのこもった発表に耳を傾けました。

石見養護学校

私たちにできること2017

邑南町の伝統料理を若い世代へ伝える取り組み「おいしい宅配便プロジェクト」として、町内保育所などで角寿司の調理講習を行いました。また、町産の豊かな農産物やA級ブルメの取り組みについて学習し、オリジナルの米粉クッキーを制作しました。食に着目した取り組みを通じて地域の人々とながら交流を深めることができました。

阿須那小学校

軍原キャンプ場の再開に向けて

阿須那や邑南町の良さを伝えることができる施設として軍原キャンプ場に着目し、JR三江線のレールを使ったトロッコや遊具の設置などを提案しました。また、阿須那かるたを紹介する地区内の名所を巡るスタンプラリーや、神楽や炭焼きなど各種体験プログラムの実施について提案し、今ある財産を有効活用する柔軟な発想で阿須那の活性化策を語りました。

高原小学校

プロの仕事とは？

～邑南町のプロフェッショナル～

修学旅行で職業体験施設を訪れたことをきっかけに、身の回りにはどんな仕事があるのか考え始めました。そこで、様々な職業につく人達の話聞き、それぞれの仕事にどのような苦労や喜びがあるかを学習しました。発表では鍛冶職人や介護福祉士、森林組合など幅広い種類の職業について学習したことを通じ、自分たちも人の役に立ち、様々な形で人を幸せにできる人間になりたいと力強く話しました。



小畑助産師の話聞く高原小生徒

瑞穂小学校

みんなが笑顔になるために

同校卒業生の医師や看護師から仕事の内容について話しを聞いたリ、公立邑智病院の見学を行うなどして地域医療の現状について学習しました。また、高齢者との交流活動を通じて認知症サポート研修を受講し、「自分は誰かの応援者になれること」「相手の立場や気持ちを尊重することの大切さ」などに気づくことができました。発表では認知症サポート研修をより多くの人に受けてほしいと訴え、多様な人々が安心して暮らすことができる町づくりを呼びかけました。

市木小学校

笑顔がきらり！

かがやけ市木大作戦Part IV

同校が行ってきた「市木大作戦」の取り組みが4年目を迎え、さらに活動を広げようと奮闘した1年間を振り返りました。公民館を巻き込んで活動を展開することを今年度の課題とし、公民館祭りで市木の名所を巡るスタンプラリーを企画した様子を発表しました。また、邑南町全域の名所を巡るスタンプラリーの実施を提案し、各校に協力を呼びかけました。

石見東小学校

夢を形に、東っ子プロジェクト

今後の邑南町の町づくりにおいて公園など憩いの場が少ないこと、空き家が増加していることを課題として指摘しました。そこで、健康事業などを行い町民が集まれるような公園の整備や、談話コーナーや図書スペースを備えた空き家の活用を提案し、地域の財産など今あるものを大切に協力し、助け合うことの大切さを訴えました。



瑞穂中学校発表の様子

羽須美中学校

つなげよう！伝統

つなげよう！地域

昨年のおおなんドリム学びのついでに羽須美中学校は町内中学校が合同で「次の日祭り」の準備などを行うことを提案していました。平成29年度は傘鉾の飾り作りなどを合同で準備するなど、この提案が実現したことを報告しました。今後はさらに多くの人達が「次の日祭り」へ参加してほしいと目標を語り、羽須美地域以外の良いところも知りたいと意欲を見せました。

瑞穂中学校

誰もが住みやすい

町づくりを目指して

町内の福祉施設を訪問し、利用者や職員から町や学生に対する要望を調査しました。調査の結果、交通機関の不便さや障がいを持つ人への理解を求める声が多かったとし、町へバスダイヤや経路について町民の意見を聞く調査を行うてはどうかと提案しました。

矢上高校普通科

英語でしゃべろう！

Let's talk in English!

校内で行った意識調査の結果、英語に苦手意識を持つ人が多くいる一方で英語を話すことに憧れを持つ人も多いことが分かりました。そこで、間違いなどを気にせずに英語のみを使ってコミュニケーションをとる英語キャンプ「On: English Camp」の開催を提案しました。

矢上高校産業技術科

ニワトリの成長

ホワイト卵を目指して

卵黄が白いホワイト卵の生産・商品化を目標に研究・実験を行った結果を発表しました。実験の結果、飼料として米を与えることで卵黄色が白に近づくことが分かりました。このことから矢上高校でもホワイト卵を生産することが可能であるといえますが、産卵数の低下がみられたことから商品化にはさらに改善が必要です。今後町内の子どもたちが矢上高校で研究を続け、将来の商品化を目指してほしいとまとめました。



市木小学校発表の様子

ユースフィンランドフェス開催

フィンランドの文化を紹介

1月27日、健康センター元気館で石見養護学校2年生による「ユースフィンランドフェス」が開催されました。「邑南町子どもたちとフィンランドをつなぐ」という目的のもと、ゴールボールのミニ体験やゲームアプリの体験、紹介ポスターの展示や点字クイズなどが行われました。催しの中心となった石見養護学校2年生は約1年間かけて準備を行い、フィンランドの文化やゴールボール競技について理解を深めてきました。

当日は町内の小中学校や矢上高校と協力して作成した展示物の掲示や、石見養護学校と瑞穂中学校吹奏楽部との合同合唱も行われ、町内の子どもたち全体でフィンランドの文化やゴールボール、福祉に対する理解を深めようとする気運を高めるイベントとなりました。

最近の
できごと

町で起きた様々な出来事をお知らせするコーナーです。



ゴールボールを体験する瑞穂中生徒



東京農業大学との包括協定に調印

地域ブランド化や人材交流を図る

1月10日、邑南町は東京農業大学と包括連携協定を結びました。既に同大学とはA級グルメ構想に取り組む中で発酵分野で連携しており、矢上高校など10団体が参加する「しまね発酵クラブ」を設立して共同で研究を行っています。この度の協定では邑南野菜のブランド化での連携、教員や学生たちとの人材交流、商品開発への協力などを掲げ、さらなる関係強化とこれによる活動の広がりが期待されます。

邑南町自立支援協議会では、障がい者の地域移行支援の一環として、邑南町雇用促進連絡会を開催しています。この会は、就職を考えている障がい者と障がい者雇用を考えている企業・事業所とを結びつけるための会です。今年度は町内の事業所9団体と就職を希望する27人、大田市障がい者就労・生活支援センター及びハローワーク川本の担当職員が集い、1月17日に田所公民館で開催しました。



働きたい障がいのある人と企業・事業所の出会いの場

邑南町雇用促進連絡会を開催しました

障がいのある人が、就労や実習を希望する場合の悩みとして、企業や事業所が求めているのはどんな仕事なのか、どんな実習があるのかなどがわからないといったことがあります。また、企業側の悩みとしてよく耳にするのが、障がい者の特性や接し方がわからないといったことがありません。この会を通じて、このような問題を少しでも解消し、障がい者本人やその家族に対して、企業側が事業内容を説明することで、希望の企業が選択できるきっかけになってほしいと考えています。



邑南町 30歳の成人式 2018

1月7日、「邑南町 30歳の成人式 2018」が開催され、今年度 30歳を迎える町出身者や在住者、46人が出席しました。

「30歳の成人式」は、30歳という人生の節目にあたり町内外の同年齢の者が、近況を話し交流を深め、故郷へ思いを馳せる機会とすることを目的とした行事で、今年で3回目の開催となります。

式典は、今年度 30歳を迎える有志で結成する実行委員会が中心となり、企画や進行が行われました。第二部の交流会では、町特産品をかけたゲームで盛り上がり、託児所を利用した参加者が親子揃ってイベントの神楽を楽しむ姿もみられました。



災害時の下水道復旧で協定

早期復旧のための協力を約束

災害時の下水道施設の早期復旧を目的に、管理に携わる島根県と13市町（益田、大田、安来、江津、雲南の5市と奥出雲、飯南、美郷、邑南、津和野、吉賀、海士、西ノ島の8町）、雲南広域連合が日本下水道事業団と日本下水道管路管理業協会の2者とそれぞれ支援協力協定を結びました。

協定の内容は災害時に2団体が職員を派遣し、下水道の管路やポンプ場、汚水処理場の被災状況の確認や応急処置、状況調査を行うというものです。

おめでとうございませう

法務大臣 感謝状

天川芳幸さん（中野地区）

天川さんは平成20年から9年間にわたって人権擁護委員を務められました。人権相談や啓発活動を通じて地域住民の人権保護活動に貢献された功績に対して、法務大臣から感謝状が贈呈されました。

天川さんは人権擁護委員を務めた期間を振り返り、「色々な人と出会い、様々な意見を聞く事ができた。この経験を通して自分自身が磨かれた」と話しました。



天川芳幸さん

「石見高原ハーブ米」が、
全国で「今、一番食べてほしいお米」に！



J・Aしまね島根おちち地区本部で生産振興に取り組み「石見高原ハーブ米きぬむすめ」が、「日経トレンドディ誌」の企画する「米のヒット甲子

園」で、全国のブランド米を抑え堂々の大賞（日本一）を受賞しました。この企画は、全国のブランド米の味覚を消費者目線で分類し、それぞれの米の個性に合った食べ方を提案しようとしたもので、第4回となる今回、全国から推薦のあった195銘柄の中から大賞に選ばれました。

おしらせ

このコーナーは、皆さんの暮らしに役立つ情報を掲載しています。詳しい内容については、それぞれお問い合わせください。



邑南町母子家庭等 児童入学就職支度金

母子・父子家庭等の児童が入学または就職する際に、入学支度金または就職支度金が支給されます。

邑南町内に住所を有し、平成30年4月に小、中、高等学校、大学等に入学する場合および中学校、高等学校を卒業し就職する児童を養育している人が対象となります。

【支度金の額】

20,000円

(対象児童1人につき)

【締め切り】

3月23日(金)

【問い合わせ先】

福祉課

☎ 95・1115

IP 050・5207・3008

瑞穂支所福祉係

☎ 83・1121

IP 050・5207・5000

羽須美支所福祉係

☎ 87・0221

IP 050・5207・6500

「元気館」運動施設 管理運営業務委託

管理運営業務委託

平成17年のオープン以降、町が直営で運営してきた健康センター元気館の運動施設

(トレーニング室・プール・エアロビクス室)を、平成30年4月1日より医療法人徳祐会に業務委託することになりました。

この度の委託は現在まで行っていた施設運営の業務委託であり、健康づくりや介護

予防を目的とした運営方針や、使用料については変更ありません。

また、各種教室もこれまでどおり開催します。

なお、受付業務も委託する業務に含まれていますので、施設使用料の徴収事務を徳祐会に委託します。

詳細については、広報おなん3月号でお知らせします。

【問い合わせ先】

保健課

☎ 83・1123

IP 050・5207・5002

はぴこ交流サロン

開催

独身の男性女性を対象に、縁結びボランティア「はぴこ」、しまね縁結びサポートセンターによる結婚相談会「はぴこ交流サロン」を開催します。

すてきな出会いが欲しいけれど何からはじめたら良いのかわからない。そんなあなたのご相談に、町内の「はぴこ」が相談に応じます。

独身の男性、女性で、結婚を希望している人であれば、なたでも参加できます。

お気軽にお越しください。

【日時・場所】

3月4日(日) 13時～15時

田所公民館

【対象】

結婚を希望する独身男性・

独身女性

【内容】

町内はぴこ会、しまね縁結びサポートセンターによる結婚相談

「はぴこ」とは、結婚を望む独身男性・女性の相談や出会いづくりをするボランティア。

【準備品】

運転免許証など本人確認ができるもの。

【問い合わせ先】

しまね縁結びサポートセンター 浜田センター

〒718-0055 浜田野原町1826-1

☎ 0855・25・1150

一斉相談会(法律相談)

石見法律相談センター

【開催日】 3月23日(金)

【場所と時間】

川本町役場 13時～16時

【相談時間】 40分以内

【予約方法】

石見法律相談センターに電話で申し込み。

【相談料金】

原則無料(3回目の継続相談から有料になり、相談料5千円)

【申し込み・問い合わせ先】

石見法律相談センター

☎ 0855・22・4514

交通事故発生状況 1月

		発生(件)	死者(人)	傷者(人)
邑智郡	1月	0	0	0
	前年比	0	0	0
邑南町	1月	0	0	0
	前年比	0	0	0
石見地域	1月	0	0	0
瑞穂地域	1月	0	0	0
羽須美地域	1月	0	0	0

平成30年度

邑南町職員採用試験 (社会人経験者)

◆採用予定人数

一般事務 5人程度

◆受付期間

◎直接・郵送の場合

2月13日(火)～8月10日(金)

(郵送は消印有効)

受付時間

平日 8時30分～17時

◎しまね電子申請の場合

2月13日(火)～8月10日(金)

◆受験資格

◎昭和48年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれ

た人

◎国、地方公共団体、民間企業等で3年以上の実務経験

がある人

◆試験の日時、試験会場

◎第1次試験

9月16日(日)予定

◎第2次試験

10月中旬以降 予定

◎第3次試験

11月中旬以降 予定

◎第3次試験

11月中旬以降 予定

◎第3次試験

11月中旬以降 予定

◎第3次試験

11月中旬以降 予定



◆試験手続及び詳細

※試験案内及び申込用紙は役場総務課及び各支所で2月13日(火)から交付します

※しまね電子申請サービスを

利用する場合

s-kantan.com/town-

ohnan-shimane-u/

◆問い合わせ先

邑南町役場総務課人事係

☎08555・95・1111

IP0500・5207・3000

自衛官募集

自衛隊幹部候補生

(二般、歯科・薬剤科)

一般大学から進む幹部候補生コースです。採用とともに陸・海・空曹長に任命され、幹部候補生学校に入校し、約1年間の過程を経て幹部自衛官となります。

【応募資格】

22歳以上26歳未満の者(20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、修士課程修了者等(見込含)は28歳未満)

【受付期間】

平成30年1月9日(火)～4月6日(金)

【採用試験】

第1次試験

筆記試験、筆記式操縦適性

検査(飛行要員希望者のみ)

第2次試験

小論文試験、口述試験、身体検査

予備自衛官補

一般の社会人や学生といった自衛官実経験者を予備自衛官補として公募・採用し、教育訓練終了後、予備自衛官として任用する制度です。

【応募資格】

一般公募
18歳以上34歳未満の者
技能公募
18歳以上で、保有する技能

に応じて53歳から55歳未満の者。詳しくはお問い合わせください。

※年齢は平成30年7月1日時点

【受付期間】

平成30年3月1日(木)～5月1日(火)

【採用試験】

共通試験
口述試験、適性・身体検査

一般公募

教養試験、作文

技能公募

小論文

◎問い合わせ先

自衛隊島根地方協力本部

松江市向島町134・10

☎08552・21・0015

しまね西部若者

サポートステーション 出張セミナー

しまね若者サポートステーションでは、働きたい若者を応援するため、働くことに不安や悩みを抱える15～39歳までの人を対象に、就労に役立つコミュニケーション力やビジネスマナーを学ぶ出張セミナーを開催します。

【日時・場所】

3月19日(月) 15時～16時

元気館

【内容】

「就労に役立つコミュニケーション力」を高めるための実践講座

詳細については、役場各支所においてあるチラシをご覧ください。

【問い合わせ先】

しまね西部若者サポートステーション

☎08555・22・6830

平成30年 邑南町消防出初式開催!

防災情報

総務課危機管理室

☎ 95-1111 IP 050-5207-3000

1月13日、新春を飾る邑南町消防出初式が井原公民館で開催されました。

今年は、数日前から降り続けている大雪の影響で町では雪害対策本部を立ち上げており、消防団も対応しているさなかでの出初式という事で、式典のみの開催になりました。式典には石見地域の団員のみが参加し、羽須美地域、瑞穂地域の団員は災害発生に備えて管轄地域の防火水槽の雪かきや車両及び機械器具の点検を行いました。



式典の様子



表彰を受ける団員

式典では、長年にわたり消防団員として活躍している皆さんの表彰が行われました。また、石橋町長は「昨年、邑南町では6件の火災が発生したが、いずれの事案においても消防団が日頃の訓練を発揮し、被害を最小限にとどめることができた。」とあいさつしました。

1月は雪がよく降り日常生活にも影響が出ましたが、今年も一人ひとりが日ごろから防災意識を高め、より安全で安心な町を目指しましょう。

■ 3月14日(水) Jアラート訓練放送



全国瞬時警報システム(Jアラート)を使用した情報伝達訓練が行われます。3月14日(水)11時00分ごろ、訓練とわかるように「これは、Jアラートの

テストです。」という放送が防災行政無線で全町一斉に放送されます。これは訓練ですので、お間違えのないよう十分ご注意ください。

■ 備えよう! 地域での助け合いの仕組み作り

災害発生時、住民の皆さんの安否確認や避難行動には、地域の皆さんの協力や支援が必要不可欠です。

自主防災組織や自治会など地域ぐるみで、助け合いの仕組みを事前につくっておく必要があります。役員会等開催時に職員が出向き町の方針等を説明します。お気軽にお問い合わせください。

詳しくは総務課危機管理室へ

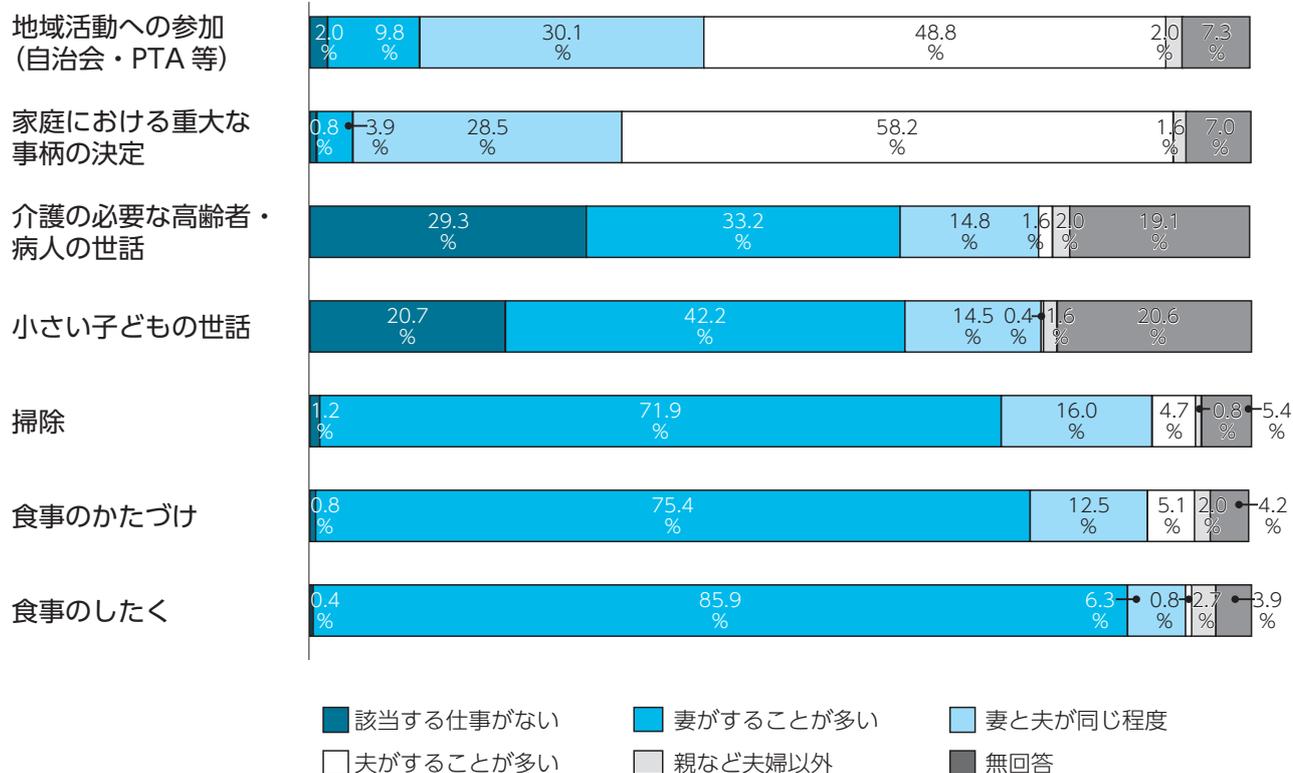


男女共同参画に関する町民の意識調査



平成28年度に町内に住む満20歳以上の男女800人を選挙人名簿から無作為に抽出して行いました。その結果の一部を紹介します。

(問) 家庭の中で次の仕事は主にどなたが担当していますか？



日常生活における家庭の仕事等の役割分担についての質問7項目のうち5項目については「妻がすることが多い」の割合が高く、特に「食事のしたく」が突出しています。反対に「家庭における重大な事柄の決定」「地域活動への参加」は「夫がすることが多い」の割合が高くなっています。

働く女性が多い中、女性が多くを担っている育児・介護については、職場や家庭での支援や理解、環境の整備が求められます。

【問い合わせ先】

町民課
☎95 - 1114
IP050-5207-3006

**男女共同参画講演会を
開催します！**

「笑う門にはいい介護」

（介護の時は笑顔で包み、最期の最期は涙で送る）

【日時】

3月20日（火） 18時から

【場所】

田所公民館

【講師】

中村学さん

（介護福祉士、元吉本興業芸人）

ご自身の家族の介護の経験をお話します。

みなさん、ぜひご参加ください！
男性もふるってご参加ください！



あなたの「声かけ」で、
救える「いのち」が
あります

3月は「自死対策強化月間」です。

平成28年の全国の自殺者数は21,897人。近年減少傾向にあるものの依然として深刻な状況が続いています。島根県では、若年層の死亡率の増加、20～40代男性の死因第1位を占めています。

自死する人＝「弱い人」ではなく、多くの自死は、「死にたくない」という想いを抱えながら、追い詰められ、自死以外の解決策が見えなくなった状況下での死です。

邑南町では、自死予防のための普及啓発活動に取り組んでいます。この機会に自分にできることを考えてみませんか。

島根県では、平成25年度から「自殺」を「自死」という言葉に代えて使用しています。

ただし、自殺者数といった統計用語等は除きます。

危険サインは「こころの不調」

自死を考えている人はサインを発しているといわれています。
大切な人や身近な人にこんな様子はありますか？

- うつ病の症状がある(気分がふさぐ、やる気が出ない、眠れない、イライラしているなど)
- 原因不明の身体の不調が長く続いている
- 酒の量が増える
- 安全や健康が保てない(今まで受けていた治療の中断、ささいなことでトラブルを起こすなど)
- 仕事の負担が急に増える、大きな失敗をする、職を失う
- 重い病気にかかる
- 本人にとって価値のあるものを失う(職、地位、家族、財産など)
- 職場や家庭でのサポートが得られない
- 自死を口にする
- 自殺未遂に及ぶ

◎「死にたい」「自分はもうダメだ」と自死を感じさせる言葉を口にしたときは、特に注意が必要です。

(自殺予防の十箇条：厚生労働省抜粋)

ひとりひとりができること
□ 気づく

「最近元気がないなあ」「なんかイライラしてるなあ...」「あんなオシャレな人だったのに...」「お酒ばかり飲んでるみたい...」など。「いつもと違う」に気づく

□ 声をかける

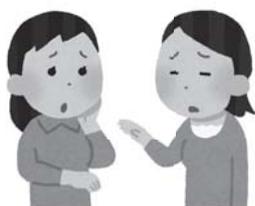
「なんかつらそうだけど、大丈夫?」「どこか具合悪い?」「眠れてる?」など。
まずは、「どうしたの?」から。誰かが自分のことを気にかけてくれる...。それだけで心が軽くなることもあります。

□ 話を聴く

「そう...大変だったんだね」「よくがんばったね」、心が疲れているときはただ「聴いてほしい」ものです。一般論や他人との比較、励ましや助言の言葉よりも、ただ、その人の想いを受け止めます。

□ つなぐ

ひとりでは解決しない問題を抱えている場合は、専門家に相談することで具体的な解決の糸口が見つかるかもしれません。



心の健康に関するお問い合わせは...

邑南町役場 保健課

083・11123 IP 050・5207・5002

県央保健所 健康増進課

0854・84・9821

平成29年12月27日、齊藤鉄夫衆議院議員が邑南町しごとづくりセンター（おおなんBiz）を視察されました。三浦センター長から視察団にBizモデルのこれまでの取り組みや実績についてお話しをし、おおなんBiz自体の説明も詳しくさせていただきました。その後、これまでの取り組みをもとに、中小企業支援の在り方についてディスカッションをしました。ディスカッション後は、センター長への質問を数点いただき、気が付けば当初予定時間の1時間を大きく超過する白熱ぶりでした。

齊藤鉄夫議員に相談場所や支援ツールなども実際に見ていただき、「今後、おおなんBizの力になれることがあれば言うて欲しい」という力強いお言葉をいただきました。

なお、おおなんBizの開所から1か月間の相談件数は42件でした。おおなんBizは、無料で何度でも利用できる相談所です。開所から1か月間ですでに3回相談に来られた方もいます。20代から70代まで幅広い皆さまに来ていただいています。皆さまも是非ご予約のうえお越しくださいければと思います。

おおなんBizへの相談予約はこちらまで!!

【問い合わせ先】

邑南町しごとづくりセンター

☎・FAX 83・0320

IP 050・5207・5544



紹介所は商工観光課内にあり、午前8時30分から午後5時まで、毎日相談に
応じています。（土日祝日を除く）

邑南町無料職業紹介所 求人情報

事業所名	職種	内容	年齢	備考
(株) 大田铸造所 (上亀谷)	製図工	車の金型部品や船の部品の図面作成	不問	
	技能工	工作機械で大型タンカーのスクリュー部品等の加工	不問	経験者優遇(NC五面加工機)
社会福祉法人 石見さくら会 (香梅苑・桃源の家・保育所) (矢上)	保育士	保育所での保育業務	不問	保育士免許(あれば尚良し)
	介護職員	高齢者施設における介護業務	不問	ヘルパー2級(あれば尚良し)
	看護師・准看護師	高齢者施設における看護業務	不問	看護師・准看護師免許
(株) 食彩工房 邑悠 (上亀谷)	野菜のカット・惣菜の製造	野菜のカット・野菜の干物・惣菜の製造等	不問	調理師・栄養士免許(あれば尚良し)
社会福祉法人 瑞穂福祉会 (さつきの園・保育所) (出羽)	保育士・保育助手	保育所での保育業務	不問	保育士免許(あれば尚良し)
	支援員	救護施設における入所者の日常生活支援	不問	有資格者優遇
島根県農業協同組合 島根おおち地区本部 (下田所)	農機具整備販売員	農業機械の整備、修理、販売	不問	普通自動車運転免許、農業機械整備士(あれば尚良し)
ローソンポプラ瑞穂店 (下田所)	コンビニエンスストア店員	接客業務、商品の品出し・陳列・発注業務、清掃業務、簡単な調理等	不問	
(有) 寺本建設 (原村)	土木作業員	土木・建設工事の現場で、土砂の掘削、埋戻し、土砂運搬等の作業	不問	普通自動車運転免許
公立邑智病院 (中野)	外来診療補助業務	外来診療科受付補助業務	不問	パソコン基本操作
	看護アシスタント	介護・リハビリ介助・シーツ交換等	不問	介護福祉士、ヘルパー1・2級(あれば尚良し)
	調理助手	入院患者の給食調理業務	不問	調理師免許(あれば尚良し)

【問い合わせ先】 邑南町無料職業紹介所 ☎ 95-2565 (商工観光課内) IP 050-5207-3020



最新の邑南町の求人情報はハローワークインターネットサービスをご利用ください。

<https://www.hellowork.go.jp/index.html>

平成 29 年分公的年金等の

源泉徴収票が送付されています

日本年金機構では、老齢・退職を支給事由とする年金を受給している人全員に、平成 29 年 2 月支払分から 12 月支払分まで(平成 30 年 1 月に支払いがあった人は、1 月支払分まで)の金額を記載した平成 29 年分公的年金等の源泉徴収票を平成 30 年 1 月末日までに届くように送付しています。

障害年金や遺族年金は所得税の課税対象ではないため、障害年金や遺族年金を受給している人には源泉徴収票は送付されません。

◎確定申告が必要な人

2 か所以上から年金を受けている人や、年金以外に給与等の所得がある人は、多くの場合、確定申告が必要です。

◎源泉徴収票の再発行

源泉徴収票を紛失した場合や届いていない場合等には、ねんきんダイヤルで再交付の受付を行います。お問い合わせ等の際は、氏名、生年月日、住所、基礎年金番号を確認しますので、年金証書をご用意ください。また電話による再交付の場合は送付まで 2 週間程度かかります。

ねんきんダイヤル 0570-05-1165

IP 電話の場合 03-6700-1165

受付時間 月曜 8:30 ~ 19:00
火~金曜 8:30 ~ 17:15
第 2 土曜 9:30 ~ 16:00

年金
掲示板

町民課

☎95-1114
(050-5207-3006)

【問い合わせ先】
浜田年金事務所 ☎0855-22-0670
町民課 ☎95-1114
瑞穂支所 ☎83-0111
羽須美支所 ☎87-0221
IP ☎050-5207-6500
IP ☎050-5207-5000
IP ☎050-5207-3006

こんにちは!!
地域包括支援センターです。

介護支援ボランティア

「きらりおおなんいきいき活動」

ポイント交換のお知らせ

「きらりおおなんいきいき活動」のポイント交換の受付を開始します。活動回数が10回以上の人であればポイント交換ができます。

ポイント交換の流れや申請方法は「ボランティア手帳」に掲載しています。申請は福祉課または各支所窓口「ボランティア手帳」をご持参ください。(申請用紙は、各窓口にあります。)

○ポイント交換受付期間

3月14日(水)～3月30日(金)

○ポイント交換窓口

役場福祉課・瑞穂支所福祉係・羽須美支所福祉係

【申し込み・問い合わせ先】

福祉課

☎ 955-1115

IP050-5207-3008

図書館だより
図書館本館 ☎ 83-1760 IP050-5207-4600
羽須美分館 ☎ 88-0001 IP050-5207-6000
石見分館 ☎ 95-1044 IP050-5207-2400

図書館は みんなの居場所です

昨年8月に、「死にたくなったら図書館へ!」という鎌倉市図書館司書の心あたたまるツイートが話題になりました。「1日いても誰も何も言わないよ」の言葉に大きな反響があったそうです。

図書館は人をひとりぼっちにしません。なぜなら本が人に語りかけてくれるからです。これから邑南町を離れていく人に「まずは近くの図書館へ行ってみてください。」とお伝えしたいです。誰にでも開かれる場所は心の支えになると思うからです。

まだまだ図書館は勉強する場所と思いついでいる人は、ぜひ図書館へ!!

わらべうた交流会

【日時】 3月4日(日) 10:30～12:30
【場所】 図書館本館
【内容】 広島で活動しているグループと合同の勉強会を開催します。関心のある人はおこしください。

3月7日(水) ストーリーテリング勉強会(本館)

インターネット、携帯電話から検索・予約ができます。
右のQRコードから携帯サイトへアクセスできます。



新 刊 案 内

「風神の手」・・・道尾秀介 朝日新聞社
「火定」・・・澤田瞳子 PHP
「体幹リセットダイエット」・・・佐久間健一
サンマーク出版

《芥川賞》
「おらおらでひとりいぐも」・・・岩竹千佐子
河出書房新社

「百年泥」・・・石井遊作 新潮社

《直木賞》
「銀河鉄道の父」・・・門井慶喜 講談社
*本屋大賞ノミネート作品も所蔵しています。

「図書館司書のおすすめ」

「マカン・マラン」・・・古内一絵 中央公論社

利用者から「何か面白い本はないですか?」と聞かれると最近はこの本をおすすめしています。
路地裏にある深夜にしか営業しない不思議なお店。ここには様々な悩みをもつ人が訪れます。疲れた心をほぐしてくれるのは、美味しい料理と優しい言葉。決して押し付けでない居心地のよさが本を通して伝わってくる作品。このシリーズは、現在三作品出版されています。



まちの
DATA

人口の動き

(平成30年1月31日)

	前月比	前年同月比
男	5,226人 -11	-79
女	5,757人 -11	-130
計	10,983人 -22	-209
世帯数	4,966世帯 -1	-52
65歳以上の割合 43.1%		

※住民基本台帳人口(外国人含む)を使用しています。

ご寄贈 ありがとうございます

一般社団法人 島根県LPガス協会様

LPガスに関する知識の普及啓発、ガス事故の未然防止を図り、公共の福祉に寄与することを目的に、町内小学校に最新安全装置を搭載したS-センサーコンロ11台を寄贈されました。

(□羽小学校2台、阿須那小学校5台、高原小学校4台)



寄贈されたガスコンロと阿須那小5年生

編集
後記

□羽地区の豆まきイベント取材しました。真つ暗な夜に槍を地面に打ちつけながら「悪い子はいねえか〜!」と練り歩く鬼の姿は大人から見ても恐ろしかったです。子どもたちは勇敢に豆をまいていましたが、泣いてしまう子もちらほら。「お父さん、お母さんの言うことを聞いて良い子にするか?」という鬼の問いかけに「はい!」と懸命に答える様子は微笑ましかったです。忘れられない思い出になったのではないのでしょうか。(はるか)

1月は大雪が降りました。大雪警報が2回も発表され、倒木による停電や通行止め、路線バスの運休、町内全ての学校が休校など、生活に大きな影響を与えました。また、農業用パイプハウスの倒壊や水道管の凍結などの被害も多数ありました。邑南町は中国山地の真ん中にあり、大雪が降るのは偶然ではなく、必然的な事だと思っています。災害は大雨や地震だけではありません。大雪での停電や断水、孤立などを想定し、事前に備えをしておくことが大切だと感じました。皆さん、気をつけましょう。(さとし)

